

議 事 要 旨 記 録 票

日 時	令和 7 年 1 0 月 1 4 日（火曜日） 午後 2 時から午後 3 時 4 0 分まで
場 所	中央公民館 講座室
会議件名	令和 7 年度第 3 回 社会教育委員の会議
主な議題	（１）社会教育委員の会議と公民館運営審議会の統合について （２）日野本町地区公共施設再編基本構想・基本計画の検討状況について （３）ひのアートフェスティバルにおける企画について （４）日野市表彰（社会教育功労）について
参 加 者	社会教育委員 須崎議長、小杉副議長、根津委員、田代委員、山本委員、大瀧議員、清水議員 教育委員会事務局 飯倉生涯学習担当参事（ふるさと文化財課長兼務）、大村生涯学習支援課長（中央公民館長兼務）、須崎生涯学習支援課主幹（中央公民館副館長兼務）、奥住図書館長、宮田企画部参事
配布資料	【資料 1】 日野市生涯学習審議会の設置に関する条例（案） 【資料 2】 日野本町地区公共施設再編基本計画の検討状況について （配置・平面建築プラン案、課題解決に向けた対応方針など） 【資料 3】 ひのアートフェスティバルにおける企画書及びパンフレット
結 果	議題の内、（１）については了承、（２）は継続協議、（３）については了承の上 依頼、（４）については報告 議題内容は上記参照
主な内容	<u>協議・情報共有</u> （１） <u>社会教育委員の会議と公民館運営審議会の統合について</u> 事務局より、第 2 回の社会教育委員の会議において承認をいただいた社会教育委員の会議と公民館運営審議会の統合について、資料 1 をもとに、新しい会議体の設置に関する条例案の提示と今後の手続きについて説明し意見を交換した。 会議の名称については、「生涯学習審議会」という一般的な名称としつつ、社会教育法に位置付けられた社会教育委員と公民館運営審議会の役割を担う会議体として所掌事項を明文化した。また、生涯学習として、学校教育や家庭教育との連携を強調している。 なお、本統合については、公民館運営審議会ではまだ継続審議となっており

承認に至っていない旨も説明した。

(委員)

現状の各会議の人数から新しい会議体の人数の違いについて確認したい。また、学校教育の関係者の意見は大事だと思うが、新しい会議体では何人になるのか。

(事務局)

現状の各会議は各 10 名であり、新しい会議体が 10 名となるので、統合することで半減することになる。学校教育の関係者は現状の各会議で 1 名ずつであり、新しい会議体でも 1 名を基本に考えている。なお、回数については、現状 4 回であるが、新しい会議体では 6 回を想定し増やすことを考えている。なお、計画策定年度など、回数は年度により増減もあるので条例では定めていない。

(委員)

公募の委員の人数は。また公民館運営審議会で、公民館事業の評価をしていると思うが、それは今後どうなるのか。

(事務局)

公募の委員は 2 名を想定し、それとは別に公民館利用者の代表が委員となる。公民館事業の評価も新しい会議体で行うとして条文にも記載している。公民館事業は社会教育事業の要でもあり、新しい会議体でも評価をし見守っていただきたいと考える。

(委員)

公民館のほか、図書館や郷土資料館の評価なども見守っていけるとよい。

(委員)

条例の制定はいつ頃を考えているか。今年度中か。

(事務局)

現行の各審議会の任期は維持しながら、新しい会議体に統合していきたい。条例制定については、今年度中を予定している。

(委員)

公民館運営審議会の承認がまだであるが、今後の流れは。

(事務局)

公民館運営審議会承認をいただければ、教育委員会の議案として提出し、その採決を経て市議会へ議案として提出する予定である。条例案については、今後も法務関係部署と精査を行い変更となる可能性がある。

(2) 日野本町地区公共施設再編基本構想・基本計画の検討状況について

資料2をもとに、企画部参事より検討状況について説明、検討会に参加または傍聴している各委員より、補足の経過報告があった。公共施設の縮充という考えのもと、固まってきた基本構想・基本計画について理解を深めるとともに意見交換を行い、各委員から以下のような意見があった。

(委員)

様々な意見を聞いていただき感謝しているが調整は大変だと感じている。最近では、図書館と児童館の配置やオープンスペースの重要性について、活発に議論されている。

(委員)

検討会を公開したり、議事録やかわら版、丁寧な説明会など検討経過をオープンにしていることは高く評価している。

(委員)

外構のイメージが資料にあるが、日野用水も近くクールスポットになるような場所ができるとよい。

(委員)

多摩平の森ふれあい館をイメージしている。図書館や児童館などさまざま施設がある中、オープンスペースもある。

(委員)

日野市のシンボリックな施設になるとよい。カフェもあるとよい。それぞれの施設に来た人や気軽に立ち寄った人も、老若男女会話が生まれ交流できるオープンスペースに期待している。

(3) ひのアートフェスティバルにおける企画について

資料3をもとに、事務局より、ひのアートフェスティバルの一コーナーとして社会教育委員の企画案を説明する。

各委員との意見交換の中で、以下のような企画となる。事務局でタイムスケジュールなど詳細を詰め、準備をする。

・日時 10月25日(土)の午後1時～

・内容 火を囲んだ休憩スペース、社会教育センターで管理している焚火台、アウトドア用の椅子を借用、マキ等は別に用意。

紙芝居付きの自転車も借用し、社会教育委員の読み聞かせによる紙芝居を行う。(時間毎に3回程)紙芝居については、図書館などから借

	用する予定だが、リクエストがあれば教えてほしい。 マシュマロセットも準備できる。集客には、子ども広場や手作り広場に声を掛けていく。 ※当日は雨だったので、自転車紙芝居は桑ハウスの中で実施した。 (4) <u>日野市表彰（社会教育功劳）について</u> 11 月 1 日に実施される日野市表彰式において、社会教育功劳として、小杉副議長が日野市表彰を受章される。その報告と小杉副議長より挨拶あり。 3. その他 東京都市町村社会教育委員連絡協議会第 3 ブロック研修会 令和 7 年 11 月 14 日（金）13 時 30 分～16 時 00 分 会場 町田市民文学館 2 階大会議室 東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会 令和 7 年 12 月 13 日（土）午後 1 時 30 分から午後 4 時 15 分まで 小金井 宮地楽器ホール 3 階大ホール 次回社会教育委員の会議について 日程調整の上、令和 8 年 2 月頃開催予定 <u>その他</u> ・社会教育センター、まちづくり市民フェア、公民館、図書館、郷土資料館より、イベントの紹介など情報提供
作 成 者	生涯学習支援課 須崎